

第 1 回厚木市複合施設等整備検討委員会 会議録

会議主管課	市街地整備課
会議開催日時	平成 30 年 11 月 30 日（金）午後 1 時 30 分から 3 時まで
会議開催場所	本庁舎 3 階 特別会議室
出席者	委員 21 人 （欠席：土野委員、立山委員、高村委員） 事務局 13 人 都市整備部市街地整備担当部長、市街地整備課中町第 2 - 2 地区整備担当課長、中町第 2 - 2 地区整備係長、同係主査、同係主査、同係技師、同係主事、 政策部長、企画政策課長、企画政策係長、 青少年課長、青少年施設係長、 中央図書館長
説明者	市街地整備課中町第 2 - 2 地区整備担当課長、中町第 2 - 2 地区整備係長、青少年課長、中央図書館長
傍聴者	あり（4 人）
公開日	平成 30 年 12 月 10 日

会議内容は、次のとおりです。

【委員委嘱式】

- 1 小林市長から委員へ委嘱状交付
- 2 挨拶 小林市長

【第 1 回厚木市複合施設等整備検討委員会】

1 開会

事務局	ただ今から第 1 回厚木市複合施設等整備検討委員会を開催します。
-----	----------------------------------

2 案件

(1) 委員長の選出及び委員長職務代理者の指定について

	厚木市複合施設等整備検討委員会規則に基づき、委員の互選により、関係団体の代表である厚木市自治会連絡協議会の神保委員を委員長に選出。 委員長職務代理者については、神保委員長が厚木商工会議所の中村委員を指定。
--	---

(2) 複合施設等の整備を検討する区域の整備方針について

委員長	案件(2)について説明をお願いします。
-----	---------------------

事務局	案件(2)について説明。
委員	整備に向けての検討は、どれくらい先の未来を想定すればよいのか。厚木市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンでは40年先となる2060年までの人口推計がなされているが、さらにその先の将来はどのように考えていくのか。
事務局	建物の耐用年数としては少なくとも50～60年は使用していくことを考えていかなければならないが、竣工する7～8年後の社会にまず必要なものを考えていく必要があるだろう。 50年先60年先の将来については、その時の変化に柔軟に対応できるように、フレキシブルに変更できるような建て方をしていくことで対応していきたいと考えている。

(3) 図書館、(仮称)こども未来館及び市庁舎の基本構想について

委員長 事務局	案件(3)について説明をお願いします。 案件(3)について説明。
委員	図書館、(仮称)こども未来館(以下「未来館」という。)及び市庁舎の3つの施設は、バラバラに整備するのか。それぞれが溶け合うようなことは考えないのか。
事務局	個別に整備していくのではなく、それぞれが融合連携することで相乗効果が生まれる施設を考えていきたい。
委員	役所の担当部署や位置や力関係があまり見えない構造にしたほうが良いのではないか。 3つの基本構想は、それぞれ総花的なものになっている。いろいろなものが混じっているものをつくっていけるとよいと思う。
委員 事務局	他の先進市では同じような事例はあるのか。 図書館と庁舎との複合施設であれば、いくつかの事例があるが、未来館を含めた3つの施設が1つになるのは、見たことがない。全国初となるのではないか。
委員	3施設の構成は、図書館、未来館が低層、庁舎が中高層というようなイメージをしている。 図書館、未来館の規模はどの程度になるか。いまよりも大きくなるのか。
事務局	基本計画の中で決定していきたい。次回以降の会議で出していきたい。
委員	建物を50年使用するとした場合、50年後の世の中は、たとえばロボットがいまよりも普及するなど、大きく変わっているだろう。複合施設が世の中を先取りしたものになるよう、現段階で考えているものはあるか。
事務局	これから委員の皆様の御意見も聴きながら検討していきたいが、少なくとも竣工の時点で最先端の機能はいくつか取り入れていき

	い。さらに、将来の科学技術の発展も受け入れられるような施設のつくりにしていく必要があると考えている。
委員 事務局	<p>今後は、高齢化が急速に進む。高齢者向けの施設としては、どのようなものを考えているか。</p> <p>中町第2-2地区周辺の整備コンセプトには、世代に関わらず誰もが気軽に立ち寄れ、充実した時間を過ごすことができる場所「サードプレイス」を掲げている。ある年代に特化したものではなく、子どもから高齢者まで、幅広い世代の方が使いやすく居心地が良い場所にしていきたい。</p>

(4) 基本計画（案）の構成及び検討スケジュールについて

委員長 事務局	<p>案件(4)について説明をお願いします。</p> <p>案件(4)について説明。</p>
委員長	全体を通して、各委員のこれまでの感想や今後に向けた意見を伺いたい。
委員	<p>資料の西暦、和暦の表記を統一されたい。</p> <p>また、会議のおおよその終了時刻についても、開催通知時に示してもらいたい。</p>
委員	これまで厚木市図書館基本構想を検討してきた。今後の高齢化を考慮し、時間帯により利用者の年代が異なることを踏まえ、図書館空間をどうするかを考えてきた。今後、施設の具体的な検討をする際に、これまで検討してきた内容について、意見を述べていきたい。
委員	<p>どのくらい先の将来を想像し、その内容をどこまで計画に組み込むことができるかが難しいところだと感じている。</p> <p>ロボットの話題が出たが、たとえば、未来館にはアミューズメントロボットがあると良いのではないか。</p> <p>新たな施設には、「遊び」が必要なのではないか。「遊び」とは、単なる「楽しく過ごす」本来の遊ぶという意味だけでなく、ハンドルの遊びのように、「余裕」が感じられるものを随所に取り入れていくと良いのではないか。</p>
委員	本委員会での検討内容には交通も考えていくこととされている。施設だけでなく公共交通についても、20～30年先を考えていかなければならない。更なる高齢化を考えると、駅前はさらに重要になってくるだろう。今後の公共交通の在り方も踏まえた議論をしていきたい。
委員	<p>これだけの規模の施設を整備するとなるとやはり渋滞が心配になる。施設周辺の道路だけでなく、もう少し広範囲で考えていく必要がある。</p> <p>一方で、たとえば、空飛ぶクルマやバイクの登場は、遠い未来の話ではない。交通も施設も、世の中の変化に臨機応変に対応できる</p>

	<p>ようにしておくことが必要であると考えている。</p>
委員	<p>大きく3つの感想を持った。</p> <p>①市民の皆様の居場所づくりとして、「くつろぎ」、「ふらっと」、「いきつけ」といった言葉をキーワードに考えていってはどうか。</p> <p>②3施設の垣根をできるだけ低くして、ファジーに混じりあうような施設にしていってはどうか。</p> <p>③そのように考えると、公共空間となる広場のつくり方が重要になってくると思う。</p>
委員	<p>施設の内容に意見する気はないが、道路事情をよく考えてもらいたい。現状でも、右折レーンや右折信号がないなど、渋滞を招く要素がある。「施設を造るにはまず道路」ということ考えてほしい。いくら良い施設ができて道路が悪ければ人を集めることはできない。</p>
委員	<p>地元自治会として今後どのようにかかわっていけるかを考えていきたい。</p>

4 閉会